



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

社長の倫理の要諦

私は1999年から顧問先社長に誘われて、那覇市倫理法人会に入会しました。倫理法人会は、全国に62,000社超の会員企業があり、全国で約670か所の会場で、毎週1回経営者モーニングセミナーを朝6時（地域によっては6時30分）から1時間開催しています。全国のどこの会場でも、無料で、何人でも参加できます。朝起きに力を入れており、特に朝礼の時に活用する「職場の教養」は毎月約175万部発行されています。

その活動の中で、「夫婦の倫理」があります。夫の倫理の要諦と妻の倫理の要諦が、それぞれ5か条でまとめられており、いたく響くものがありました。教えは実践することで正しさを証明するしかありませんので、日々、その実践に努めています。最初に、これをご紹介します。

夫の倫理の要諦

1. 任せた家のことは妻に任せきり、深い信頼と同感をもって妻と心をつなげる。
2. 妻については、露ばかりも不平不満を思わない。
3. 妻の心中を良く聞いてあげる。
4. 妻に要らぬ差し出口をしない。
5. 天職に向かってただまっしぐらに脇目も振らず努力する。

妻の倫理の要諦

1. 朗らかに「ハイ」と一声、夫の言うこと

を喜んで受ける。

2. この世にかけがいの無い夫を心から信頼し、どこまでもついてゆくと決心する。
3. 子供よりまず夫を大事にし、心より世話をする。
4. いつも微笑みを絶やさず、明るく美しく夫に接する。
5. 家事を嫌わず、ずぼらせず、家の中を常に整えて清潔にする。

妻の倫理の要諦はさておき、夫である私の実践は、上記5項目です。実践して3年。ずいぶんと、自然にできるようになり、家庭内の変化も実感しています。が、まだまだ、覚悟が足りないのか、特に2番目の「露ほども不平不満を思わない」ことができないときがあります。

子供が生まれた時から、風呂に入れたり、おしめ（おむつのこと。当時はこう呼んでいました）を替えたり、ミルクの後にゲップさせるのは、当然のこととして、何の苦も無くやっていたので、「男女共同参画」とかイクメンとか、何を今さらという感じでした。

さて、実践の中で、「そうか、なるほど！」と、大事なことに気づきました。夫の倫理の要諦にあたる「妻」を「責任者」又は「社員」という風に読み替えると、そのまま当てはまるではないですか。「夫」とはトップ、つまり社長です。

すると、会社内が朗らかに、安らかに、喜んで、進んで働く集団に変身できる「社長の倫理の要諦」となります。やらされ仕事からやりたい仕事に変わり、苦しい仕事から楽しくて仕方がない仕事に変わってゆくのです。

社長の倫理の要諦

1. 任せた部門のことは責任者に任せきり、深い信頼と同感をもって責任者と心をつにする。
2. 責任者については、露ばかりも不平不満を思わない。
3. 責任者の心中を良く聞いてあげる。
4. 責任者に要らぬ差し出口をしない。
5. (社長は) 天職に向かってただまっしぐらに脇目も振らず努力する。

気づいたということは、実践せよ！と天の教えです。できる人しか気づかない。解決できる人にしか問題は表面化しません。解決不能な問題は起きないのです。早速、実践しています。すると、変化が起きてきます。

今まで、逆のことばかりしていたように思い、今さらながら、社員に申し訳なく思っています。

みなさんも、夫の倫理、社長の倫理に取り組んでみませんか？

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014
那覇市松尾 1-18-22 8階
TEL098-864-0331
FAX098-860-3416
Email : mec@mekata.co.jp

京都 〒603-8478
京都市北区大宮釈迦谷 4-10
TEL075-334-5105
FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」
得意ワザ「見える化」技術
嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！
お電話ください。 098-864-0331